むきばんだ花だより, 2月

2015, 12, 05





冬芽は、長さ1~1.5cmの披針形。 芽鱗は3~4個 雄花序の冬芽は雌花序より下につく。





ミカン科サンショウ属

冬芽は長さ4~8mmの半球形またはいぼ状。 芽鱗は無毛。 葉痕は腎臓形またはハート形。 維管束痕は3個。



ニシキギ科ツルウメモドキ属

レンプクソウ科ガマズミ属

長さ6~9mmの広卵形で、9~10月に赤く熟す。 核は長さ4~6mmの卵球形、5個の稜がある。

長さ6~9mmの広卵形で、9~10月に赤く熟す。 核は長さ4~6mmの卵球形、5個の稜がある。



バラ科キイチゴ属

果実は集合果。 直径約1cmの球形で、11月~1月頃赤く熟す。 花期は9~10月。



クスノキ科ハマビワ属

冬芽の葉芽は紡錘形で長さ7~15mm、先端は長く尖り、 葉状の大きな芽鱗に包まれる。 花芽は直径3mmほどのやや扁平な球形。葉のわきに多数下を向いてつく。 柄は湾曲し長さ約1cm。葉痕は半円形~三日月形で隆起する。





正の のは 起何

●アリドオシ

(蟻通し:アカネ科)別名:一両 鋭いトゲをもち、秋に赤い小さな実を付ける。名前は、 このトゲが蟻をも突き通すという説と、実が翌年まで持つので「ありどほし」という説がある。



●ヤブコウジ

(藪柑子:ヤブコウジ科)/別名:十両 茎は枝分かれせず地下茎でふえていき、夏に小さな白花 を咲かせて径5mm ほどの実をまばらに付け、晩秋から冬 にかけて赤く色づきます。葉は長さ10cm ほどの長だ円形 で、フチにはギザギザが入ります。



●カラタチバナ

(唐橘:ヤブコウジ科)別名:百両 茎常緑の小低木でほぼ直立し、ほとんど枝分かれせず高さ20cm~70cmほどになります。日の余り当たらない林 床に生育します。花は、夏に、径7mm前後の白い小さな 花を葉腋に数個房状につけます。花冠は5深裂して裂片 は反り返ります。果実は、晩秋から早春に鮮赤色に熟し 茎の中程に房状に多くつけ、径6mmほどの球形でよく目



●クササンゴ

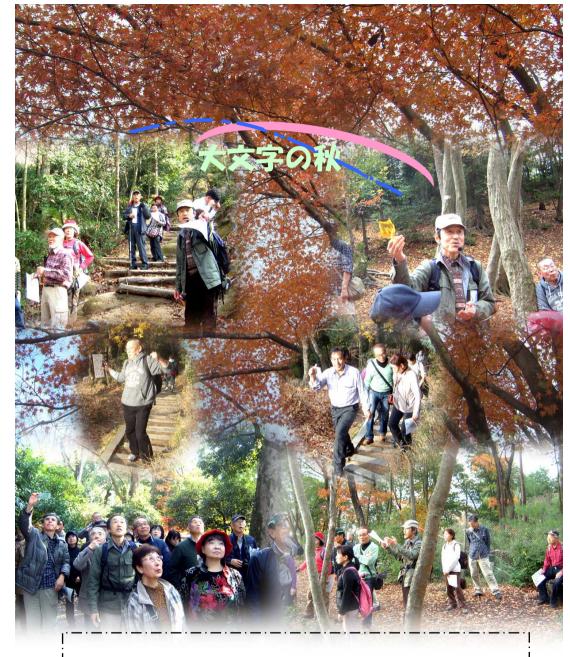
立ちます。

(草珊瑚:センリョウ科)別名:千両 センリョウ(千両)はマンリョウ(万両)と並んで正月飾りに 欠かせない縁起木のひとつで、主に冬に色づく赤や黄色 の実を鑑賞します。葉の上に赤い実をつけるのがセンリョ



●マンリョウ

(ヤブタチバナ:クサコウジ科)別名:万両 冬に付ける光沢のある赤い果実と緑色のコントラストが美 しく、「万両」という、いかにもたくさんのお金をほうふつと させる名前で、正月用の縁起木として親しまれています。 幹は根元で枝分かれせずまっすぐ上に伸び、先の方で小 枝をまばらに出します。



★むきばんだを歩く会★

- ●指導:鷲見寛幸先生(鳥取県自然観察指導員)
- ●毎月第1土曜日午前9時30分~正午
- ●入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- ●問い合わせ:むきばんだ応援団「むきばんだをあるく会」